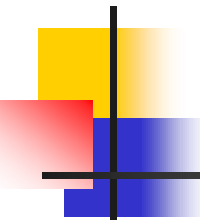




JABank宮城の地域密着型金融の 取組状況について（平成22年度）

平成 23年11月
JABank宮城



JABANK宮城（JA,農林中央金庫仙台支店）
では,農業と地域社会に貢献するため,平成22
~24年度 JABANK宮城中期戦略に基づき,地
域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。
平成22年度の地域密着型金融の取組状況に
ついて取りまとめましたので,ご報告いたします。



目次

農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンク宮城の農業メインバンク機能強化への取組み）

… P.4

担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

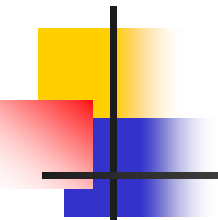
… P.10

経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

… P.14

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

… P.16



農山漁村等地域の活性化のための
融資を始めとする支援

(JAバンク宮城の農業メインバンク
機能強化への取組み)

農業融資の円滑な取組み

- JABank宮城は、各種プロパー農業資金に対応するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成23年3月末時点の JABank宮城の農業関係資金残高^(注1)は**461億円**（うち農業経営向け貸付金401億円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は**50億円**を取扱っています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JABank宮城が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】

単位 百万円

営農類型	平成23年3月末
農業	40,121
穀作	11,144
野菜・園芸	883
果樹・樹園農業	197
工芸作物	43
養豚・肉牛・酪農	2,036
養鶏・鶏卵	1,573
養蚕	1
その他農業	24,244
農業関連団体等	6,007
合計	46,128

(注)

1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
2. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
3. 「農業関連団体等」には、JAが含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成23年3月末
プロパー農業資金	37,551
農業制度資金	8,577
農業近代化資金	2,937
その他制度資金	5,640
合 計	46,128

(注)

1.プロパー資金とは、JAバンク宮城原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

2.農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク宮城が低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。

3.その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成23年3月末
日本政策金融公庫資金	5,034
その他	9
合 計	5,043

(注)

JAバンク宮城では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金等の受託貸付金を取り扱っています。



担い手のニーズに応えるための体制整備

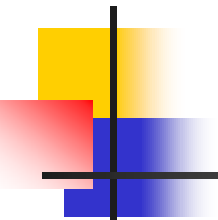
- JAVバンク宮城では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- 県内のJAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内14 JAの本店には33人の「担い手金融リーダー」を設置し、支店の活動を支援しています。
- 農林中金仙台支店では、JAの支援・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能を順次、拡充、強化してまいります。

生産者と消費者をつなげる場の設置

- JAバンク宮城では、生産者と消費者をつなげる交流イベントを開催しております。イベントには、約1万2千名の方にご来場いただきました。

イベント名	開催日	総来場者数
JAグループ宮城 いいものフェスタ2010	平成22年7月3日 ～7月4日	約12,000名

この他、県内各JAで生産者と消費者をつなげる様々なイベント(JA祭等)を開催し、多数の方にご来場いただいております。



担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

新規就農者の支援

- JABank宮城では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【平成22年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

単位 件 ,百万円

	実行件数	実行金額	平成23年3月末残高
就農支援資金	2	14	261
その他	-	-	1
合計	2	14	262

- 平成22年度から、JABankアグリサポート事業の一環として、新規就農応援事業を創設し、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成を行っています。

経営不振農業者の経営改善支援

- JABank宮城では、農業経営負担軽減支援資金の対応等にあたり、地域において特別融資制度推進会議を開催し、農業者の経営再建に向けて関係機関と協議しています。

【平成22年度の農業者の経営改善支援取組実績】

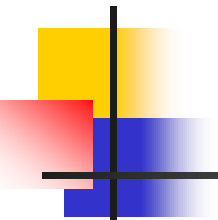
	経営改善 支援取組先 a	aのうち再生 計画策定先 b	aのうちランク アップ先 c	aのうち債務 者区分不変 先 d	事業計画 策定率 b / a	ランクアップ 率 c / a
正常先	-	-	-	-	-	-
要注意先	46	3	8	17	6.5%	17.4%
破綻懸念先	45	1	12	11	2.2%	26.7%
実質破綻先	168	25	23	123	14.9%	13.7%
破綻先	0	0	0	0	0.0%	0.0%
合計	259	29	43	151	11.2%	16.6%

（注1）経営改善支援取組先は、JA・農林中金仙台支店が再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。
 ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。債務者区分不変先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。



講演会・セミナーの開催

- JAバンク宮城では、県内の各JAが住宅ローン、年金、資産管理などにかかる相談会・セミナーを開催し、地域の皆様のライフプラン形成などをサポートしています。



経営の将来性を見極める融資手法を
始め、担い手に適した資金供給手法の
提供

負債整理資金による経営支援

JABank宮城では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成22年度 負債整理資金貸出実績】

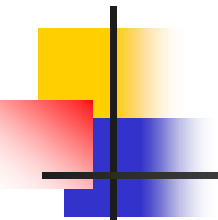
単位 件 ,百万円

	実行件数	実行金額	平成23年3月末残高
畜特資金	3	22	311
農業経営負担軽減支援資金	0	0	12
その他	7	44	1,032
合計	10	66	1355

・畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

・その他は、県独自の制度資金や、制度資金以外のプロパー資金による借換え資金などが該当します。

・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。



農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献



災害などの被災者への支援

- JAバンクでは、全国各地での災害等の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や利子助成等を実施、また個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しております。
- また、県内JAにおいては、農業生産資材の価格高騰に対し、独自の金融支援策を実施、586件、686百万円の融資が行われました。



JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク宮城では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、**JAバンク食農教育応援事業**を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク宮城を通じて、平成22年度には県内の小学校446校へ、約2万4千セットが配布され、学校の授業等において活用されています。
- また、県内のJAでは、食農教育などの実践活動が取組みされており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。
平成22年度は県内38件の取組みに対して、約740万円の助成申請が行われました。